

三重大学人文学部外部評価

横田 綏子（島根大学法文学部）

今回の外部評価は、人文系 17 大学の相互評価という新たな試みの最初のものであり、状況が似通った大学同士のいわば内部事情に通じた同僚評価システム構築の第 1 歩と位置づけられる。煩雑な準備作業と当日の実施に至る、三重大学人文学部のご努力に敬意を表するとともに、そのご貢献に感謝したい。

今回の評価に当たっては、事前に膨大な関連資料を送付いただき、当日はこれらにもとづき各責任者から行き届いた説明がなされた。これらを踏まえ、まず最初に、全体として、今日の大学を取り巻くきわめて困難な環境の中で各課題に真摯に取り組み、最大限の努力をされていることは高く評価できることを指摘しておきたい。その上で、多くの大学にも共通すると思われる今後の課題を中心に述べさせていただく。

1. 教育内容および方法について

共通教育について；共通教育の目標との関連を意識されていることは評価できるが、それを％で表示することについては、教員個人の恣意に流れないか、学生の科目選択に役立っているかなど、検討課題が残されているように思う。又、主題の立て方や分類はどのような観点から行われているのか、これらと教育目標との関連についても、検討が必要ではないかと感じた。科目数の数についても学生の選択肢を増やす点では積極的な意味をもつが、もう少し整理して教育目標に沿った意識的体系的な学習を促すべきではないか、検討が必要と思われる。（島根大学でも問題は指摘されながらまだ実施できていない）

専門教育について；文化学科と社会科学科の履修区分の考え方が異なる点、特に文化学科における専修と地域による縦軸横軸の考え方については、貴学部の特色となっているが、学部レベルの学力に見合ったものであるか等、なお検証が必要ではないかと思われる。

2. 教育の質の向上・改善について

全員参加による FD 研修会の年 4・5 回におよぶ開催、TOEIC 自習システムや Moodle などの E-learning システムの整備、授業評価アンケート、授業参観など、熱心に改善努力を重ねておられることを高く評価したい。アンケートの分析を踏まえ、個人的努力の評価とその普及、組織化をいっそう進められたい。その点で授業アンケートの分析からは、学部や学科、分野ごとの今後の課題を析出することも必要になると思われる。年度ごとの改善目標の設定と成果の確認を通じ、お互いを励ましあうような取り組みが求められると思う（自戒を込めて）。

3. 生活支援・就職支援について

学部で相談室を設け毎日多数の相談時間を設けて手厚い学生支援体制をしいておられることは評価すべきであるが、学生のニーズに見合ったものか、担当教員の負担は適正かなど、なお検討すべき点もあるのではないかと感じた。

就職支援に関しては、就職ガイダンス、キャリア支援セミナーの開催など学部独自で手厚い支援を行っておられることが印象的であった。特に多数の学部4年生による経験交流は、受け手の3回生にとって各自の関心分野の直近の実態を詳しく知ることが出来る点でも、4年生に出身学部や後輩との連帯感を培う上でも優れた取り組みであると思われる。又、懇切で読み応えのある「就職活動の手引き」において、就職状況のリアルな実態を学生に伝えておられる点は、高く評価できる点であるとともに、他大学でも学ぶところの多い取り組みであると思われる。

4. 高大・地域連携について

年間20回を越える出前授業の実施に敬意を表するとともに、担当教員の負担や本来の教育・研究等への影響を考えると、出前授業の目的の確認、それに照らしたメニューの精選と整理、年度ごとの負担配分など、目的に照らした評価とそれを踏まえた実施体制の検討が必要ではないかと思われる。公開ゼミの試みも注目すべきものであると思われるが、その評価分析が待たれる。

人文社会科学研究科における共通科目「三重の文化と社会」も先進的取り組みであるが、受講生の専門分野と対象地域との関連のつけ方など、今後の検証に待つところもあると思われる。ただし配布いただいた研究科の地域交流誌は、充実した内容を持つ読み応えのあるもので、上記の懸念はあるいは杞憂かもしれない。研究科カリキュラムに組み込んだ地域連携の組織的取り組みとして、今後の発展が期待される。

以上今後の検討課題と思われる点を中心に述べてきたが、今後この人文系17大学相互評価を進める上で、三重大学井口人文学部長が提起された評価基準の確定が、早急に行われる必要がある。この相互評価が、共通の基準に照らして相互の成果を評価しあい、成果を普及し、次の課題を設定して一段と進んだ段階で又次のサイクルが進められるような、17大学全体の水準向上システムとなることを強く期待したい。その点で、評価終了後、評価に参加した大学同士が、お互いの経験交流を行える時間があればと感じた。

最後に、三重大学人文学部の優れた取り組みを、それぞれの責任者から詳しく説明いただいた今回の経験は、評価者自身にとっても得るところの多い得がたい機会であった。厚くお礼申し上げたい。